

緑肥作物と土壌保全

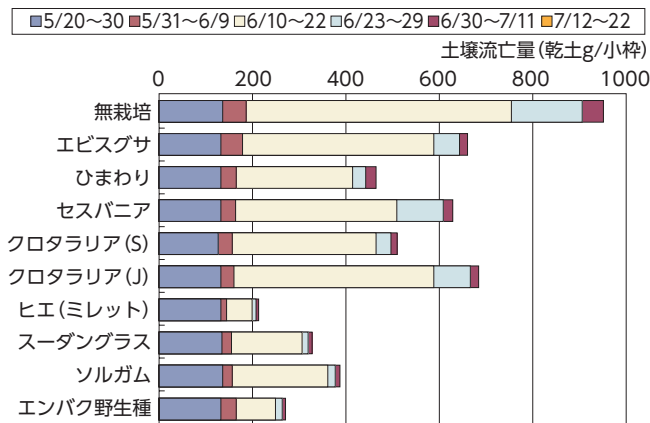
緑肥作物が土壌保全に役立つ!

梅雨から夏の期間に畑に作物がない場合、長雨やゲリラ豪雨等によって畑から土壌が流亡することがあります。

そこで、緑肥作物を導入することによって「土づくり」をしながら、土壌保全も可能になります。

また、土壌保全以外にもいろいろな効果が得られます!

- ☑ 雑草の繁茂を防ぎます! トラクターの稼働が減り、省エネにつながります。
- ☑ 海や湖沼、河川への土壌の流出を防ぐことができます! 環境保全につながります。
- ☑ 線虫対抗品種を利用することによって、線虫密度を減少させることができます!



緑肥作物(カバークロープ)を栽培することによって、土壌表面が根と葉に覆われ、根によって土壌が保持されることから、土壌流亡が大幅に軽減されます。



図：緑肥作物(カバークロープ)と土壌流亡量の関係
引用文献：牧草と園芸 第62巻第3号(2014)「梅雨時期の土壌流亡を抑制するカバークロープの効果」(現長崎県農林水産部 大井義弘)

夏に利用できる雪印種苗が推奨する緑肥作物

品種名	草種名	主な特性
つちたろう	ソルガム(イネ科)	サツマイモネコブセンチュウ対抗品種。初期生育早く粗大有機物が極めて多い
ねまへらそう	スーダングラス(イネ科)	夏場のキタネグサレセンチュウ対抗品種として威力を発揮
ソイルクリーン	ギニアグラス(イネ科)	各種ネコブセンチュウの抑制効果が非常に高い品種
青葉ミレット	ミレット(イネ科)	湿害を受けやすい圃場で栽培しやすい品種
ネマキング	クロタラリア(マメ科)	各種線虫対策に効果を発揮する品種
ネマックス	クロタラリア(マメ科)	ネコブセンチュウ・ミナネグサレセンチュウ・ダイズシストセンチュウ抑制効果が高い晩生品種
ネマコロリ	クロタラリア(マメ科)	マメ科緑肥作物の中では初期生育が極めて早い品種
田助	セスパニア(マメ科)	マメ科緑肥作物の中では耐湿性が強く、直根性の根で深く土壌改良が可能な品種